

盲学校だより

石川県立盲学校 第13号
令和4年12月16日(金)発行



雪・月・花



〒920-0942
金沢市小立野5丁目3番1号
TEL 262-9181
FAX 222-0214

「文化祭で感じたこと」

高等部主事 大日向 真澄

早いもので、2022年ももう終わりを迎えようとしています。新型コロナウイルス感染症はいまだ収まらず、withコロナは継続しています。そんな中、10月に本校第52回文化祭が開催されました。

小学部の『OZのまほうつかい』、3人の見事な表現力に脱帽。中学部・普通科の声劇『ともだち』、仲間の自作劇に胸が熱く。箏曲に有志発表と児童・生徒の生き生きした姿に釘付けでした。作品展も学習での工夫した取り組みや部活動で楽しく作ったことが伝わる作品に心温まりました。

そんな文化祭を通して思ったことは、コロナを理由に子どもたちの活動を止めてはならないということです。子どもたちの知りたい思い、感じたい思い、伝えたい思い、それらを表現する場をしっかりと用意してあげることが大切なのだ改めて感じる一日でした。

マスクをしても、子どもたちの笑顔・輝きは変わりません。今できることは何なのか、いや、できるようにするために、児童・生徒、保護者、教職員が知恵を出し合ひましょう。新しい何かを作りあげることにワクワクを感じられる子どもたちを育てましょう。

「北信越盲学校サウンドテーブルテニス大会」

11月10日・11日に長野県松本盲学校で行われた第15回北信越盲学校サウンドテーブルテニス大会に参加しました。一日目は個人戦、二日目は団体戦が行われました。結果は以下の通りです。練習を重ねるごとに力が伸びた選手たち。団体戦は、松本戦も長野戦も接戦となりました。大舞台での緊張感のある試合を経験したことで、精神的にも成長することができました。報告会では、新たな目標を掲げた選手たちを今後も応援していきます。

団体戦 石川県立盲学校 優勝！！！！

個人戦（アイマスクなし） 奥 瑞樹さん 第1位

個人戦（アイマスクあり） 横山莉世さん 第3位



「御山まつり」

9月18日（日）盲学校のある小立野地区で御山まつりが3年ぶりに開催されました。箏曲部が「鷹」という曲の演奏で出演しました。

見ているお客様に、鷹が力強く飛んでいるところや、鷹が集まったり、一羽でいたりと変化する様子が伝わるように心を込めて演奏しました。

演奏後に大きな拍手をいただき、達成感がありました。



「小学部 修学旅行」

9月29日(木)～30日(金)は、5、6年生が七尾方面に出かけました。道中の乗り物の音や沿道の人々の声に聴き入り、博物館や水族館の展示に能登の土地柄を学びました。「楽しみで仕方ないと言うのはこんな気持ちなんだ、と分かりました。」と、事後学習の中で児童が話していました。



「金商デパート」 10月15日(土)

第39回金商デパートに高等部普通科2年の2名が参加しました。作業の時間に製作した木製コースターや一合升、ティッシュボックスを販売しました。金沢市視覚障害者地域生活支援センター六ツ星作業所さんの手芸製品や点字用紙を使った行燈や封筒、鍋敷きも販売しました。お店を訪れた多くのお客さんと商品の説明や販売を通してコミュニケーションをとることができました。また、金商生の販売する様子や他の特別支援学校の作業製品を見ることで、同じようにしてみたい、作ってみたいとの意欲がわきました。



「敬老マッサージ」 9月16日(金) 「いしかわ産業教育フェア」 11月6日(日)



敬老の日恒例の「敬老マッサージ実習」を3年ぶりに開催しました。理療科の生徒職員で14名のお客様に心を込めた施術をしました。



「いしかわ産業教育フェア」が3年ぶりに開催され、来場者に理療科の生徒による健康相談や健康体操等を行いました。

第52回 文化祭

「あたらしい おどろきをみせる ぶんかさい」

10月22日(土)に文化祭を実施しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりましたが、一人一人が自分の力を発揮した文化祭となりました。ご来校いただきました皆様、ありがとうございました。



小学部 音楽劇「02のまほうつかい」 中学部・普通科 声劇「ともだち」

児童生児有志 器楽演奏